



# 飛翔OB会

同窓会  
報

平成7年3月1日  
第1号



## 飛翔OB会によろこそ

同窓会会長 田中 泉

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。そしてそれともない飛翔OB会への入会を心より歓迎いたします。

飛翔OB会は八工大二高同窓会の愛称であります。この名称は同窓会発足当時からありましたがなかなかこのような会報を刊行する機会が無く、同窓会員にはあまり知られていないかと危惧していましたが、このようによりやく皆様の目前にこの名称を掲示できたことにひと安心していただきます。

さて、この平成六年度は歴史的に忘れられない出来事がありました。震度6の地震でした。また地区によっては一月の余震の方が被害が大きかったのですから、これからも、記憶から消えることにはないでしょう。巷では妙な噂がたち一月十七日に再び大地震が起きるのではと、新聞にも載るほどでした。しかしながら、それが当地ではなく関西で起きるなんていったいどうしたことでしょう。震度は当初6と報じられていても八戸の被害とは比べものにならないたいへんな惨事です。

地震などの天災に限らず現代社会は突然に思いもよらぬことが起こります。自分に非が有る無しに関係なく被害が及んでくることもあります。そ

して我々はそれに対してどう対処していけばいいのかが重要になってきています。

社会の中で生きていくのに必要なことは、どんな状況においても冷静に判断し、目標に向かって一步一步実行していく知恵でしょう。その知恵は皆さんが今まで生きてきた十八年間、皆さんの親とか先生、周りの大人たちの愛情によって授けられてきた筈です。

今、皆さんは十八歳。これからは今まで以上に楽しいこと、辛いことなどいろいろな感情を身をもって経験していくでしょう。そしてその経験の中から大切なことをしっかりと学んで次への礎としていって下さい。

「光陰矢のごとし」と申します。若い時代は自

分を見つめる時間がないほど速く過ぎてしまいがちです。それは楽しくれば楽しいほど、充実していれば充実していきます。だれでも若い時代を徐々に卒業しなければなりません。若い時代の楽しいとき、充実しているときこそ次の自分を考え、目標を打ち立てていかなければなりません。

同窓会はまだまだ若いメンバーばかりですが、いつも学校の先生方にも加わっていただいています。どうぞ、同窓会総会に出席して、旧交を温めあい、恩師と昔話に花を咲かせましょう。

特に今年には同窓会二十周年記念ということで、中里市長を招いていますので是非出席を。

### 話題あれこれ

- ① 飛翔OB会の由来について  
昭和60年に同窓会の愛称の募集した結果、多くの卒業生からの要望で大壁画「飛翔」から取り、飛翔OB会と決定したネーミングです。
- ② 期生会を開催した回生には本部から補助金5000円が支給されますのでご連絡下さい。
- ③ 20周年記念同窓会名簿作成の窓口として住吉治彦が担当しておりますので、会員の住所・進路先の変更がありましたらご連絡下さい。  
事務局〒031 八戸市類家五丁目16-20  
TEL・FAX 0178-46-1571

〈浴 革〉

我々の母校八戸工業大学第二高等学校は、昭和四十八年四月、普通科を八戸電波工業高等学校大開校舎として分離し、昭和五十年四月、八戸工業大学第二高等学校と改称、独立し、初代校長として根城正一郎先生が赴任され、十三年間で二高基礎を確立し、現在は、二代目校長山田静先生の御指導の下、二十一世紀に向けての教育が行われています。

この二十年間で、昭和五十五年、「八戸工業大学運動公園」、昭和五十七年、「運動部室」、昭和五十九年「校舎増築」、昭和六十年に、「第二体育館」が造成されて年々整備されております。

こうした環境の中、私学の建学の精神に基づいて、それぞれの生徒の能力、個性に応じた教育課程を組み、先生方、生徒の努力のみならず、御父兄の御支援があればこそだったと思います。

〈在学中の思い出〉

在学当時、建物は校舎が一つあるだけ、道はジャリ道、周囲には人家もなく自然そのものでした。一番初めに驚いたのは、始業のベルがなく、ブリキのバケツやちり取りをほうきの柄でたたいて、先生が始業終業を知

らせていたことで、これが一か月間続いた記憶があります。このような状況の中で、生徒会、各委員会、部活動、等、文字どおりゼロから私達が計画、企画しました。授業で一番大変だったのは体育の時間で、まだ体育館がなく、雨の日はいづも廊下の掃除をしていました。春は砂ほこりがすく、校内はすぐ汚れ、冬はバス停から校舎までの四百メートルの除雪作業と、身をもって季節を満喫できました。

関係の集まりで会う機会があり会話はずんで意気投合、交際を始めるようになりまし。これもまた私の記憶になかったことですが、それより以前、昭和五十三年六月に私が二高の教育実習に行った時に職員室で会ったそうです。当時妻は高校一年生でした。

又、昭和五十三年五月二十七日、文京区の湯島会館で東京支部同窓会を発足し、初代支部長に私が選出されまして、十三年間活動してまいりました。主な目的は、新卒者が上京して一か月、ちょうどホームシックにかかる五月中旬頃に開催し、先生方も数名お招きして、親睦を深めようというものです。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

我以外皆我師



同窓会顧問 関東支部同窓会相談役 住吉治彦

の中で勉学や将来について互いに語り合うことができ、私の青春時代の最も印象的な思い出でした。

〈妻との出会い〉

昭和五十九年九月、新宿駅校内を歩いていると「こんにちは」と声をかけられ、振り向くと一人の女性でした。私は全く彼女についての記憶がなかったのですが、話を聞くと二高の卒業生で、毎年同窓会に参加していたということでした。その時はそれで別れましたが、その後何度か同窓会

で学んだ経緯があり、同窓会が発足したと同時に特別会員として入会が許されたのです。私達のこととは通称ゼロ回生と呼ばれています。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。



折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

折、相談する先輩や、過去の実績がなかったのも情報も少なく苦労したことともとなり、後輩にこうした苦労をかけない為にも、情報を学校に提供して活用してもらいたいと思い、一回生が、卒業と同時に同窓会を発足するよう学校に働きかけをして実現させたという経緯があります。

# 八戸工業大学第二高等学校同窓会 同窓会関東支部の規約および役員名簿

## 八戸工業大学第二高等学校同窓会規約

### 第一条

本会は八戸工業大学第二高等学校同窓会と称し、その本部を学校内に置く。

### 第二条

本会は会員の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする。

### 第三条

会員をわけて通常会員及び特別会員の二つとする。通常会員は本校の卒業生よりなり、特別会員には本校現在の職員及び旧職員を推薦する。但し卒業生にあらざるも、かつて本校に在籍した経験を有する者は本人の希望、又は本会の推薦により通常会員となることができる。

### 第四条

本会には次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 2名
  - (3) 書記 2名
  - (4) 会計 2名
  - (5) 渉外 3名
  - (6) 幹事 若干名
- 役員は総会において選出し、その任期は2年とする。

### 第五条

本会に顧問をおくことができる。顧問は会長の推薦により総会で決定する。

### 第六条

総会は毎年一回開く。但し必要と認める場合は臨時総会を開くことができる。

### 第七条

役員会は会長必要と認めるときは、これを開く。

### 第八条

通常会員は母校卒業と同時に会費壹万円を納入するものとする。  
(平成六年九月一部改正)

## 同窓会役員

平成六年度現在、同窓会役員の名簿は以下の通りである。

- 会長 田中 泉 (1回生)
- 副会長 田野岡嗣典 (2回生)
- 田野岡 雄一 (6回生)
- 熊谷 雄一 (6回生)
- 熊谷 漁業 (株)
- 書記 佐々木睦生 (4回生)
- N T T 八戸通信機器営業支店
- 沼田 育子 (12回生)
- 階上齒科診療所

## 会計

- 坂下 淳一 (5回生)
- 八戸工業大学 営業所
- 清水 啓次 (16回生)
- 八戸工業大学 渉外
- 石塚 利孝 (3回生)
- 八戸工業大学第二高等学校
- 荒谷 道子 (14回生)
- 八戸工業大学第二高等学校
- 大嶋 東 (14回生)
- 八戸工業大学第二高等学校

## 顧問

- 住吉 治彦 (0回生)
- 八戸工業大学第二高等学校 青森青森科商會八戸支店
- 中屋敷貴史 (1回生)
- 松平病院
- 石上 正則 (0回生)
- 石上建設 (株)
- 須藤 博史 (3回生)
- 大洋自動車工業 (株)
- 浅香 敏彦 (4回生)
- 八戸便利社 (株)
- 野沢 博之 (4回生)
- 八戸燃料 (株)
- 沼田 恭志 (4回生)
- ヌマタ A V システム
- 中道 順子 (4回生)
- 青森自動車会議所
- 高橋 喜次 (5回生)
- 八戸グランドホテル (株)
- 稲葉 嘉浩 (6回生)
- 司法書士田名部守事務所
- 住吉砂津貴 (6回生)

## 主婦

- 前野 雅彦 (7回生)
- 自営業
- 植村 昭雄 (10回生)
- アレック情報ビジネス学院
- 関野 洋史 (10回生)
- 八戸市立新井田小学校
- 宮沢 伸行 (11回生)
- 青森県立八戸高等学校
- 小澤 昌子 (12回生)
- 八戸市立新井田小学校
- 扇谷 裕子 (12回生)
- 磯崎 修 (15回生)
- 自営業

## 第四条

本校の職員及び本校に貢献のあったものは特別会員とする。

## 第五条

本校には次の役員を置く。役員は総会において選出しその任期は2年とする。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 2名
- (3) 書記 2名
- (4) 会計 2名
- (5) 渉外 2名
- (6) 幹事 若干名
- (7) 相談役 1名

## 書記

- 下山 順之 (12回生)
- 御モリク
- 住吉 貴子 (13回生)
- 板橋中央総合病院
- 市沢由紀子 (8回生)
- 主婦
- 柳谷 貴子 (12回生)
- 柳建設環境研究所
- 沼山 秀樹 (3回生)
- 菱和工業 (株)

## 幹事

- 大溝 英之 (7回生)
- 大日本印刷 (株)
- 内村 敏之 (4回生)
- 日本ハイコム
- 山口 達弥 (16回生)
- 順天堂大学
- 相談役
- 住吉 治彦 (0回生)
- 八戸工業大学 青森青森科商會八戸支店

## 平成六年度同窓会新幹事決定 八戸・関東地区で計十八名

平成六年度卒業生からの連絡があった際、(第二十回生)の中から、次の十八名が同窓会の幹事に選出されました。

- 1組 大久保 平
- 2組 清水 貴夫
- 3組 中村 一哉
- 4組 田村 久子
- 5組 村上 正憲
- 6組 出町 謙治郎
- 7組 高橋 良子
- 8組 庭野 孝一
- 9組 佐藤 美樹
- (関東地区)
- 1組 水上 知己
- 2組 須賀 良平
- 3組 野田 工子
- 4組 難波 理香子
- 5組 古川 麻紀子
- 6組 滝口 律子
- 7組 関 明應
- 8組 豊川 貴久子
- 9組 杉本 佳子

# 関東支部同窓会支部長

高森 敏



皆さん。卒業おめでとうございませう。

私は、第四回卒業生で現在、八工大二高同窓会関東支部長を務めております。

私が卒業した十六年前母校八工大二高は、二つの校舎と体育館から成る新しい小さな高校でした。

昨年二十周年の記念式典にお招き頂いた際、十六年ぶりの母校を見て、又、式典の素晴らしさを見て、ただただ驚いた次第です。

これも校長先生をはじめ、諸先生方の御指導と、皆さんの努力の結果と思ひ、大変感動しました。この感動を得られたのも、同窓会の一員として、母校との情報チャンネルが継続していたおかげと思ひ、感謝しています。

今、私自身の高校卒業の頃を思い出すと、進路と新生活への期待と不安でいっぱいでした。私は、卒業後在京の大学へ進学しましたが、本質的には特に目的意識を持っていなかったように

思います。今年卒業される皆さんの中にも同じような方がいるのではないかと思ひます。当時の私は、目的を持って自分の進路を決定している友人を羨ましく思っていました、多少の焦りもあつたと思ひます。そこで、「人間皆可能性を持っていて、いろんなことにチャレンジする内に、自分の可能性を見出し、努力して花を咲かせ、それを継続すれば実になる。自分は自分の可能性を見つける為に進学したんだ。」

と考へることにしました。その後は、アルバイト、ボランティア、そして時々学業と、忙しく学生生活を送りました。結果、まだ実は成っていませんが、そろそろ花は咲くかな、等と思ひています。高校卒業を期に、あらゆることへのチャレンジをお勧めします。

さて、関東支部は、毎回母校の先生方において頂き、母校の近況ビデオ上映やビンゴ大会等、有意義で楽しい会となるよう心掛けていますので、ぜひ出席下さいませよう宜しくお願いします。

生徒会役員になってみたものの、果たしてどれだけ皆のために働けたかは自信がない。はっきり言って漠然と日を過ごしていたのかもしれない。工大二高で何かをやるうと意欲的に入学してきた訳ではない。でも、毎日の学校生活の中で、当然つらいことや嫌いなことにも出会ったが、楽しいことが多かった気がする。なによりも、色々なことを教えてくれた先生方や友達に出会えた事が良かった。何かを成し遂げるよりも、これらの人々と出会えたことが自分にとって重要だった。

色々な出来事に会ったり起こしたりの日々だったように思える。その大部分に対しては、関わることもなく傍観者として見ていた。

「HRR長を経験して」  
松本 茂  
早いもので、三年間がたちました。振り返ってみると、がむしゃらに、そして一生懸命な高校生活だったと思ひます。そして自分なりに、あれこれと思ひ悩み、また、あこがれや夢にひたっていた頃に比べると、現実を見つめるようになり、大きく成長したように思ひます。  
高校生活での思い出

## 卒業生からの声

### 思い出し将来の夢

「HRR長を経験して」

松本 茂

は、HRR長を二年間やつたことです。HRR長の役割は、言うまでもありませんが、クラスをまとめることです。これがなかなかうまくまとめられず、困ってばかりいました。しかし、今にして思えば、いい経験だったと思ひます。

将来は、看護士になることで、病いに苦しんでいる人達を助け、自分から生きる喜びと希望を与え、また、患者さん達からも多くのことを学びたい。

「振り返ってみると」  
出町 謙治郎  
高校生活の思い出と将来の夢といつても、なかなか書くのがむずかしい。思えば、この三年間は色々な出来事に会ったり起こしたりの日々だったように思える。その大部分に対しては、関わることもなく傍観者として見ていた。

に出会い覚えていくだろうが、現在思ひ描いている最大の夢は、韓国で跆拳道を学ぶことである。

### 「音楽とともに」

滝口 律子

高校生活の数々の思い出の中で最も印象強いのは、やはり所属していた合唱部での部活動だ。さらに私は音楽大学志望の為の個人レッスンにも通っていた。だから、私の高校三年間は音楽一色だったように思う。

合唱部では、毎年文化祭に発表するミュージカルに全力を注ぎ、二度も主役を頂いた。その一方歌やピアノのレッスンにも励み、ミュージカルは大成し、希望の音大にも合格することが出来た。何かと多忙な毎日だったが、とても充実した三年間だった。頑張ったと今心から思える。

今、音大入学も決まり、将来の夢も沢山ある。自分で選んだ道なので、途中で投げ出さず、大学で学んだ事を生かす職に就きたい。地元に戻って来て音楽教師になるのも良いし、舞台活動など表に出るのも良いかもしれない。今は一つに絞れないが、後になって悔いが残らないよう、やりたいと思つた事に全力投球していきたいと思う。

## 新入会員の皆さんへ

### 同窓会本部通信

同窓会は、毎年新入会員を加え、今年卒業の皆さんを含めると五千三百名をこえる一大組織になりました。

しかし、特別会員（八戸電波工業高等学校普通科の昭和四十九年度卒業生）の先輩でも、いまだに四十才に届きません。まだまだ若い同窓会なのです。

従って本会では、毎年会員相互の親睦を深め、恩師の方々の再会の機会を設けるために、五月に東京で同窓会関東支部総会、八月に八戸で同窓会総会を開催しています。

同窓会という、何やら古いイメージや堅苦しいイメージを抱きがちですが、そのようなことはありません。お互いの近況をたしかめあい、先輩や後輩との結びつきを少しでも深めてくれれば良いのです。

平成七年度、即ち今年度の関東支部総会や総会の詳しい開催日時は次の通りです。  
一、第十八回関東支部総会  
平成七年五月二十日（土）の十七時四十分～  
五十分  
ホテル聚楽（東京都千代田区神田淡路町二一九）

このような企画を準備してありますので、多くの会員に参加していただきたいと思ひます。

また、今年加入する新会員の皆さんには、創立二十周年記念同窓会会員名簿を、八月前後に無料で配布する予定です。配布方法は同窓会事務局から自宅へ郵送致します。

従って、八月までに家族の方がすべて他の場所へ引越されるような場合は、次の宛先まで葉書を使用し、転居先を連絡して下さい。転居の連絡がないと会員名簿が届かない場合がありますので、必ず連絡して下さい。

一、第二十回同窓会総会  
平成七年八月十二日（土）の十五時～  
八戸パークホテル（八戸市吹上二丁目十五～十九）  
尚、当日は八戸市長中里信男氏による記念講演会を十五時から予定しており、その後十六時三十分より総会および懇親会を行います。

このように企画を準備してありますので、多くの会員に参加していただきたいと思ひます。

また、今年加入する新会員の皆さんには、創立二十周年記念同窓会会員名簿を、八月前後に無料で配布する予定です。配布方法は同窓会事務局から自宅へ郵送致します。

従って、八月までに家族の方がすべて他の場所へ引越されるような場合は、次の宛先まで葉書を使用し、転居先を連絡して下さい。転居の連絡がないと会員名簿が届かない場合がありますので、必ず連絡して下さい。

一、第二十回同窓会総会  
平成七年八月十二日（土）の十五時～  
八戸パークホテル（八戸市吹上二丁目十五～十九）  
尚、当日は八戸市長中里信男氏による記念講演会を十五時から予定しており、その後十六時三十分より総会および懇親会を行います。

このように企画を準備してありますので、多くの会員に参加していただきたいと思ひます。

また、今年加入する新会員の皆さんには、創立二十周年記念同窓会会員名簿を、八月前後に無料で配布する予定です。配布方法は同窓会事務局から自宅へ郵送致します。

従って、八月までに家族の方がすべて他の場所へ引越されるような場合は、次の宛先まで葉書を使用し、転居先を連絡して下さい。転居の連絡がないと会員名簿が届かない場合がありますので、必ず連絡して下さい。